

## 塘研究室現地調査報告

私たちの研究室では、久しぶりにヒメシロカゲロウ属の研究を卒業研究として実施します。裏磐梯地域などに生息する止水性の種の研究をこれまでしてきましたが、今回は流水性の種が主な対象です。とは言え、猪苗代湖の湖岸域にも分布しているので、その発生状況の確認に、2021年3月26日、猪苗代湖の長浜、中田浜に行ってきました。猪苗代湖に生息するのと同種と思われる種の幼虫が福島市内を流れる河川で採集されるようになりました。ただし、体長はまだ1mm弱ですが……。猪苗代湖では昨年2020年11月22日にも同じ場所でのこの種の調査をしましたが、その時はまったく採集できませんでした。結局、今回も猪苗代湖では採集されなかったため、来月、再度チャレンジです。



猪苗代湖中田浜（2020年11月22日）



猪苗代湖長浜（2021年3月26日）

3月27日は研究室の3年生、久野未希さんと塘の2名で、裏磐梯の雄子沢川と中ノ沢川で、ミズバチ類のサンプリングをしました。こちらも卒業研究の材料です。裏磐梯地域にはミズバチとミヤマミズバチが分布していますが、前者の幼虫はニンギョウトビケラに、後者の幼虫はアツバエグリトビケラ類に寄生します。今回はミズバチ類が寄生したトビケラのサンプリングでした。研究室の0Bである裏磐梯ビジターセンターの大平創君から情報を頂き、雄子沢川でニンギョウトビケラに寄生するミズバチを探しました。積雪の上を歩いてニンギョウトビケラがいそうな場所を探して川に入り、無事に15個体ほどを採集しました。天気は良かったのですが、水温はまだ相当に低く、水の中に手を入れてトビケラを探すのは大変でした。中ノ沢川からはミヤマミズバチを採集していますが、寄主であるアツバエグリトビケラ類は未発見でした。今回、ニッポンアツバエグリトビケラと思われる個体を発見しましたが、ミヤマミズバチに寄生された個体（蛹）は見つかりませんでした。ニッポンアツバエグリトビケラと思われる個体は雄子沢川でも発見できたので、両河川で引き続き、探索を続けたいと思います。



雄子沢川でのサンプリング中



ニンギョウトビケラに寄生するミズバチ